

元戦車中隊長の模型部屋

第3回

皆さんは家族に内緒で高価なものを買ったことがありますか？私はたまに出張へ行った時に秋葉原の模型店に行くのですが、帰宅早々、長女に尋問されます。

長女「今回は何のプラモ買ってきたの？」 私「・・・いや、何も」

長女「さっさと出す！父さんが何も買ってこないわけ無いでしょ！」

私「・・・はい、これ」 長女「それで、これはいくらしたの？」

私「いや、たいした金額じゃ・・・」 長女「いくらしたの！！」

私「に、2万6千円・・・（汗）」

長女「2万6千円!? ・・・まあ、3万円超えてないならいいや。」

私「・・・え!? 3万円までなら良いんですか？」

と、こんなやりとりが・・・子供に詰め寄られる親って私くらいでしょうか？
で、今回は長女の想定の範囲内の2万6千円で購入した・・・

75式ドーザです。



キットは「えときんモデル」さんです。プラモデルではなく限定生産のガレージキットです。レジン製の車体に金属やプラスチックの部品を取り付けるものですが、意外にもとても作りやすく、比較的短時間で完成しました。



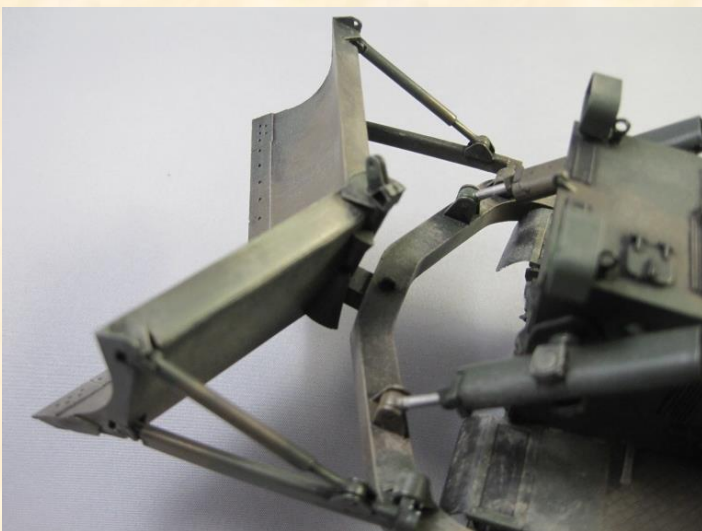
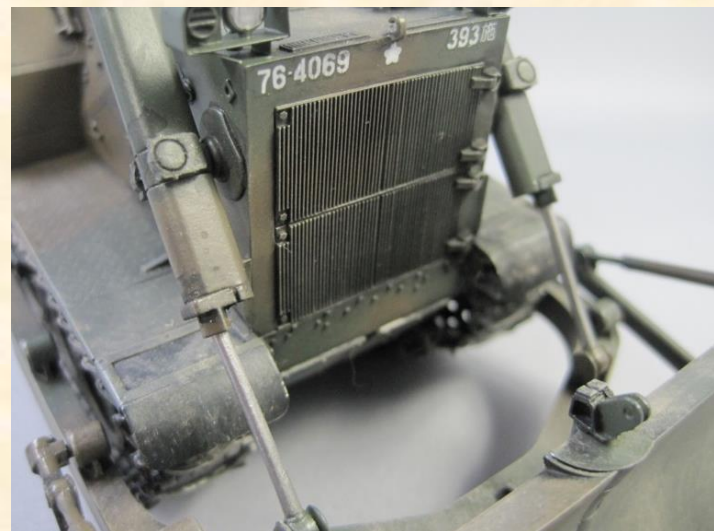
75式ドーザは施設科の装備品で、敵の小銃弾や砲弾の破片から防護できる装甲を有するブルドーザで、戦闘下での土木工事を行うことができます。

操縦席が回転式で作業時（写真上）と走行時（写真下）とで前後を変えます。その為、前後両方に桜のマークが付いています。自衛隊の装備品の中でも桜のマークを二つ付けている装備品はこのドーザだけだと思います。

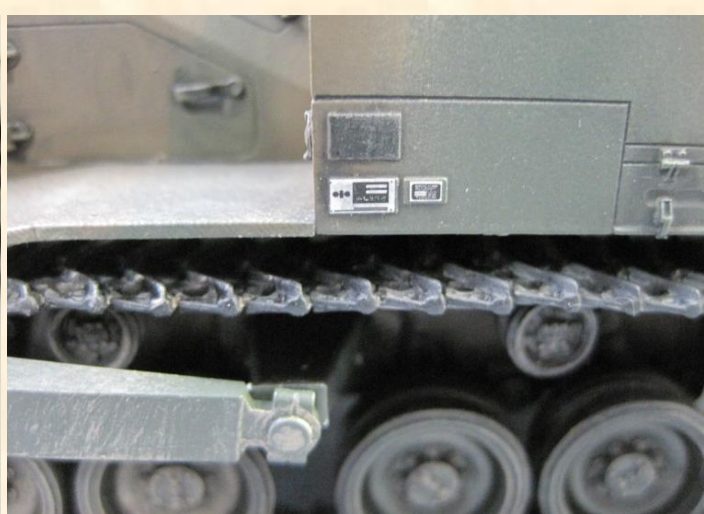
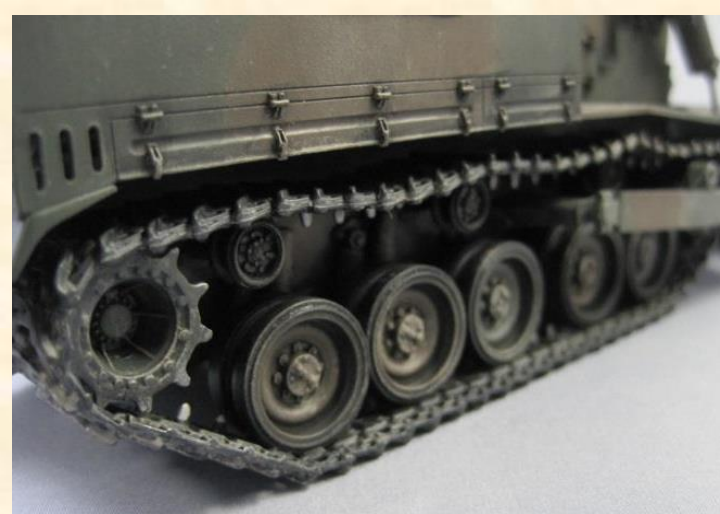




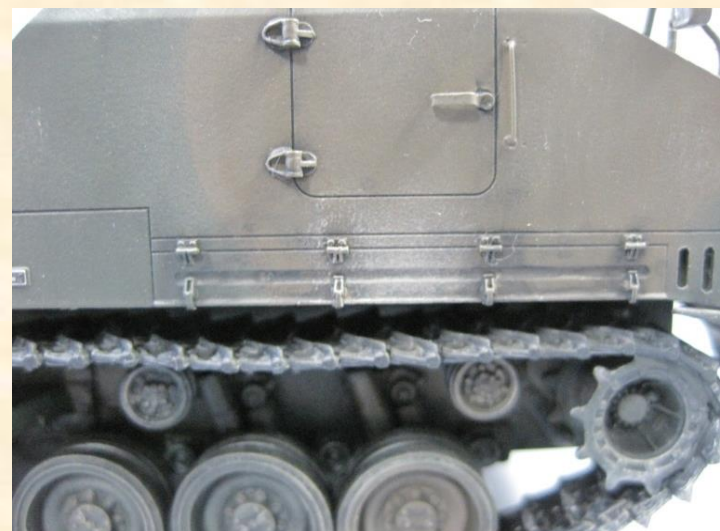
ドーザアームの取り付け穴が左右3箇所あり（写真上右下）、その差込を変えることでドーザの形態を変えることができます。模型だから簡単に変わることができますが、実車ではかなり重たくて大変なんだそうです。



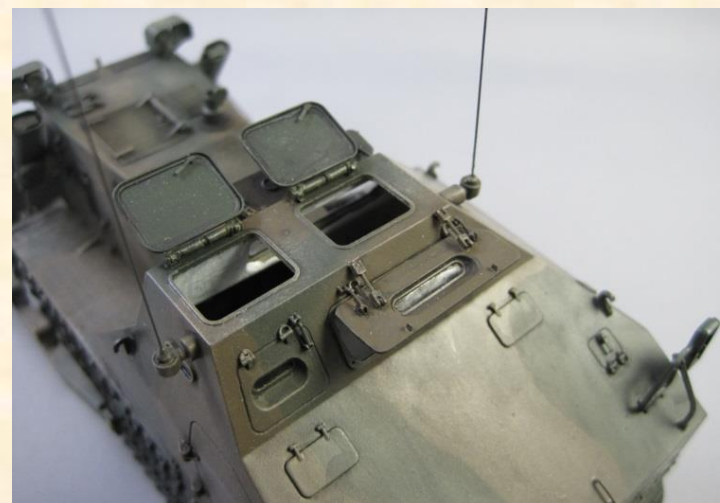
高田駐屯地に所在する第5施設群に配備されている実際の車両を調べて細部を塗り分けました。車番も部隊表記も迷彩パターンも当然実車と同じです(笑)



履帯は一枚一枚の組み立て式で、自然な「たわみ」が表現できます。車体側面の器材標記も他の模型のデカールを使用してそれらしく見せています。小松製作所製なのがわかります(笑)



ハッチの周辺や車体上面には乗員の乗り降りや埃が堆積するので、それらしくウェザリングしてます。



操縦席周辺のハッチ止めも実車を参考に作ってます。アンテナは真鍮線を取り付けてます。



操縦手窓にはエッチングパーツのワイパーがついてます。わかりますか？
バックミラーも実車を見ながら角度を調整して取り付けてます。



さあ、作業始めるわよ！

塗装はGS | クレオスの陸上自衛隊色セットを使用しました。落ち着いた色調になります。女性自衛官フィギュアと並べるとドーザの大きさがわかりますね。そうそう、女性自衛官の採用数も増えているみたいですよ。これを見ている女性の皆さん！入隊のチャンスです。さあ、お近くの自衛隊地方協力本部へ！(笑)
それではまた！